

床を保護すること
 日々のお手入れを楽にすること
 そしてなにより、小さな家族を守ること

同時にかなえる 「ペット工法」です。

滑るフローリングで
 足腰の関節を痛めることから
 ペットを守ります。

フローリングの床は一般的に滑りやすいため、ペットがソファ等から飛び降りた際に関節を痛めたり、滑りながら動き回ることでもヘルニアや骨折などの原因にもなりやすいと言われています。「ペットコーティング」は**高い防滑性能**があるため、フローリングの床でも滑りにくく安全です。

ペットが
 床を舐めても安全。
 塗料の安全性は折り紙つき。

「ペット工法」で使用するコーティング剤は、ホルムアルデヒド等に関しては「F☆☆☆☆」を取得しており、食品衛生法にも適合しています。そのため、もしペットが舐めてしまったとしても、安心でのびのびと健康的な生活を送ることができます。

お散歩後の
 汚れや粗相のときでも
 サッと拭くだけで簡単きれい。

通常フローリングには目地部分の耐水性がないため、水拭きはおすすめできません。「ペットコーティング」は**目地部分の防水・耐薬品性**を高めているため、水拭きや熱湯、アルコールを使った除菌しても大丈夫。お散歩帰りやペットがオシッコをしてしまった時も、ひと拭きするだけでキレイな床を保つことができます。

玄関やポーチに
 マーキングのシミ。石材だから
 とあきらめていませんか？

「ペット工法」は、フローリングだけでなく、石材やタイルなど**さまざまな場所と素材に対応**。外からの汚れを持ち込みやすい玄関ポーチも石材専用のコーティングをすることでお手入れがぐんと楽になります。また、床暖房のフロアにも「ペットコーティング」は適用可能。ペットと飼い主さんがいつでも快適に暮らせる環境をご提案させていただきます。

体重の重い大型犬も、
 より強度の高い
 「ハイブリッド工法」で安心。

大型犬の飼い主さんには「ペット工法」オプションの「ハイブリッド工法」をおすすめしています。体重の重いペットの場合、床にかかる力も大きいため、通常のコーティングではフローリングの痛みや摩擦は避けられません。そこで、より強度の高いコーティングを下地にして、基材を守り、柔軟性のあるトップコートで防滑性を高める「**ハイブリッド工法**」で、ペットとフロアを同時に守ります。

ペットが走りまわること
 できる、床の細かい
 爪傷もきちんとケア。

通常のコーティングやワックスは表面が滑るため、ペットが爪を立てて走ったり、滑る床で爪を立てて踏ん張ることで傷がどんどん増えてしまいます。一方、「ペットコーティング」は滑りにくく、爪を立てないですむため、**天板が傷つきにくい**のも特徴です。経年によりコーティング表面に多少の傷が付きませんが、天板本体自体はきれいなまま。傷がついても部分的にコーティング補修することで、美しいフロアが蘇ります。

目地の補強により
 マーキングによるシミや変色から
 フローリングを保護します。

ペットのオシッコは粒子が小さく、アンモニアが含まれているため、床に浸透してフローリングを劣化させてしまいます。また、床の継ぎ目からオシッコが浸み込み、内部のシミやカビ、臭いの原因となることもあります。「ペットコーティング」はフローリングの継ぎ目部分に**特殊な防カビ処理**を施し、防水性と耐薬品性を高めているため、ペットが粗相をしても拭くだけでOKなのです。



Check.01

飼い主とペットの快適な暮らしを考えた
 新世代フロアコーティング、「ペットコーティング」。

サービングが開発したペット工法は、ペットの安全な暮らしとお家のケア、その2つを同時にかなえる新しい技術です。柔軟性のある特殊な加工を床にほどこすことでペットをケガから守り、床の天板もしっかりと強化。ワックスとは違って耐久性があるため、一度コーティングをすればキレイが長持ちします。



Check.02

傷んだ床でも「レストア」してコーティング。

傷やシミがすでについてしまっている床でも、サービングの「レストア技術」で基材を再生してからコーティングを施します。フロアを新たに床ごとに貼り替える必要がないので経済的です。



ペットのマーキングなどでシミやカビが発生して黒ずんでしまっているフローリング。



シミ・カビを除去し、着色・塗膜再生後、ペットコートを施工。ペットに優しく、汚れに強い床に生まれ変わります。

Check.03

室内外を問わず、様々な基材にあわせてご提案。

住まいの造りは千差万別。床の基材、ペットの種類、生活スタイル等にあわせて、最適な処置方法をご提案致します。ぜひ一度ご相談ください。



■フローリング



■大理石(防汚)



■屋外タイル(防汚)